



区画整理事業等見直しに関するまちづくり勉強会に向けて

市では、昭和43年に氷川町土地区画整理事業区域(125.8ha)として都市計画決定した後、平成17年に区域の一部を氷川町(草加駅西側)土地区画整理事業区域(通称：氷川一次)として整備が完了しました。しかし残りの区域については氷川町土地区画整理事業区域(通称：氷川二次)として位置付けられたまま、都市計画決定から50年以上、事業化に至っておりません。

このような状況を改善し、現代に合ったまちづくりを進めるため、市では平成29年度から本地区の土地区画整理事業の見直しをはじめ、昨年度は説明会を開催し、並行してアンケートのご協力をお願いさせていただきました。今年度につきましては新型コロナウイルス感染症の影響により予定していたまちづくり勉強会の開催を見送ることといたしました。しかし、市としては本地区のまちづくりを進めていくことは重要であると考えており、来年度以降、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつ、まちづくり勉強会などを通じて、皆様と地域の課題解消に向けた方策の検討などに取り組んで参りますので、ご協力のほどお願いいたします。

1. これまでの見直しに向けた取り組み

■氷川町土地区画整理事業の見直しに係る説明会の開催

令和元年12月から令和2年2月までに「氷川町土地区画整理事業の見直しに係る説明会」を全4回開催させていただきました。

【開催日時】

	日 時	参加人数
第1回	令和元年12月19日(木)	137名
第2回	令和元年12月20日(金)	79名
第3回	令和2年 1月25日(土)	121名
第4回	令和2年 2月 1日(土)	67名

※参加人数は、受付簿に記載いただいた方の人数になります。

【開催場所】 氷川コミュニティセンター 集会室

説明会の様子



【内 容】

1. これまでの経緯について
2. 地区の現状について
3. これからのまちづくりについて
- 4.本地区で取り組むまちづくりについて
5. 今後の進め方(案)について
6. 事例紹介
7. 質疑応答・意見交換

■まちづくりに関するアンケート調査の実施

説明会と並行して地区内の土地・建物をお持ちの方、お住まいの方、働かれている方等を対象に、現在のまちの状況や将来のまちづくりについてのアンケート調査を行いました。

【調査結果概要】

調査期間	令和元年12月末～ 令和2年2月15日
配布数	6,118部
回収数	1,130部(令和2年2月15日時点)
回収率	18.5%

【内 容】

1. 回答される方について
2. 現在のまちの状況について
3. 将来のまちづくりについて
4. その他

アンケート調査票

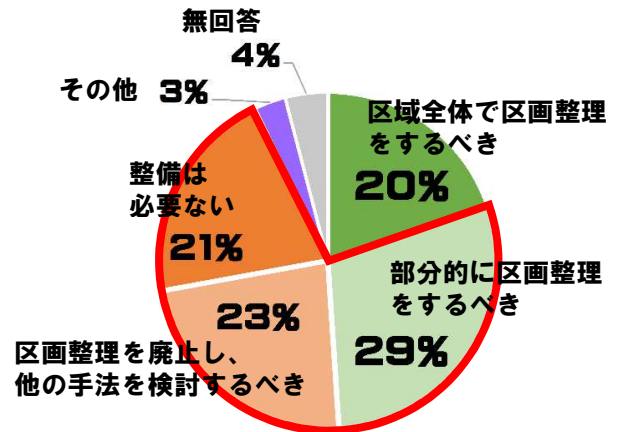
※これまでの経緯や説明会の様子、アンケートの内容につきましては、草加市ホームページにて公開しています。<http://www.city.soka.saitama.jp/cont/s1801/020/010/010/02.html>



2. 今後の整備、現状に関するご意見(まちづくりに関するアンケート結果より)

■整備手法について

項 目	票数	割合
区域全体で区画整理をするべき	223	19.7%
部分的に区画整理をするべき	330	29.2%
区画整理を廃止し、他の手法を検討するべき	262	23.2%
整備は必要ない	235	20.8%
その他	34	3.0%
無回答	46	4.1%
合計	1,130	100.0%



全体で区画整理をするべきといったご意見もあったものの、ご回答いただいたご意見のうち 約7割超が区画整理について何かしらの形での見直しが必要といった結果となっています。

■地域の意見



生活道路に不満を持っている方が半数以上いるエリア

議論したい内容の例

- ・拡幅する道路はどこにする？
- ・道路幅員は何メートルがよい？
- ・移転となってしまう方はどうする？ など

公園や広場に不満を持っている方が半数以上いるエリア

議論したい内容の例

- ・公園をどこに整備する？
- ・どんな公園にする？ (広さ・設置物等)
- ・どうやって整備する？ など

防災・防犯に不満を持っている方が半数以上いるエリア

議論したい内容の例

- ・日常生活での防犯・防災上課題がある場所は？
- ・どのような防災上の対策があるのか？ など

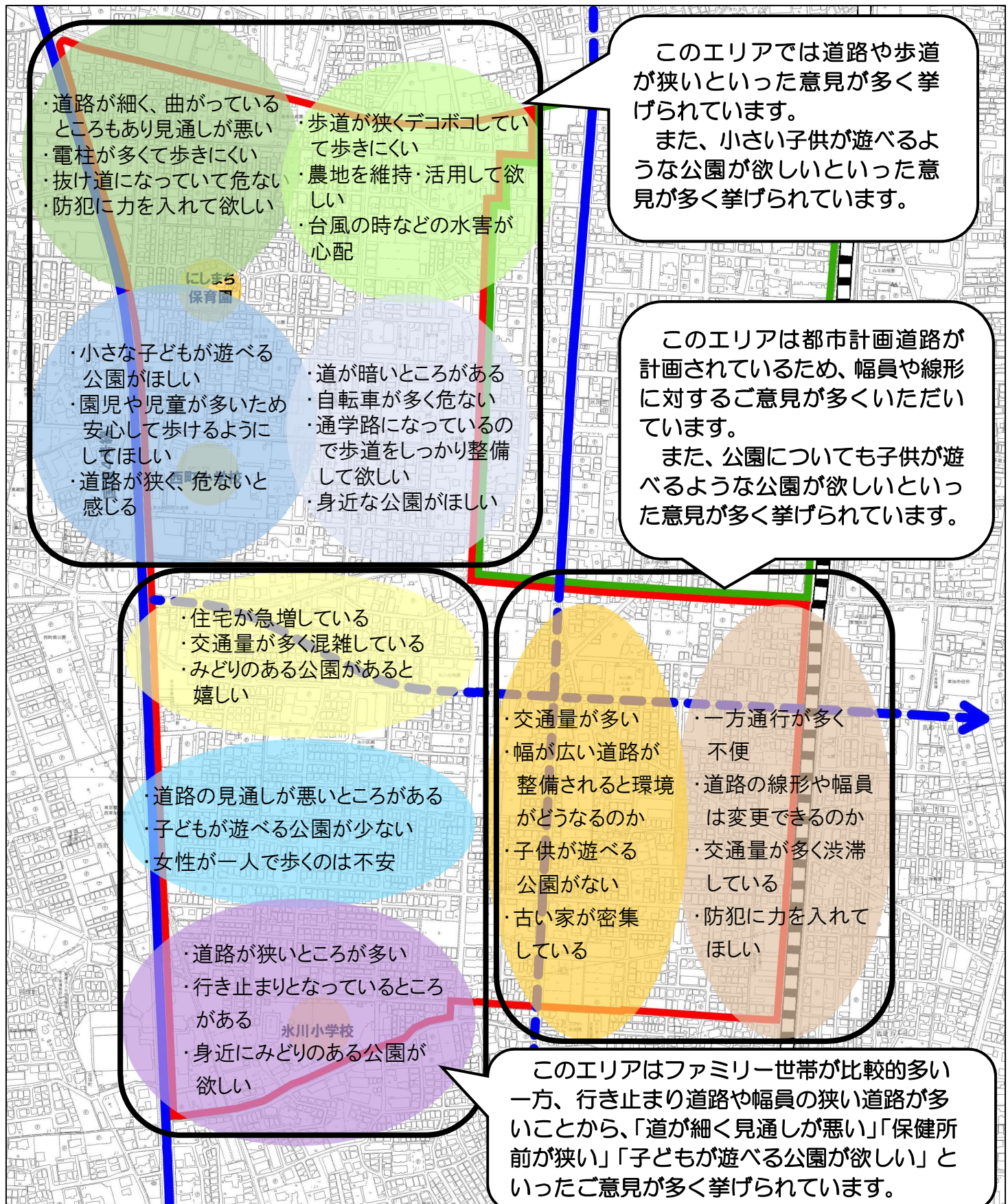
■地域全体で特に多かった意見

- ①道路・歩道が狭い
- ②公園が無い、少ない、狭い
- ③街路灯が無く暗い
- ④洪水等の水害が心配

地域の皆様が生活されている中で感じているこういった課題を解決するために、区域内の環境を良くするために何が必要になるかなど、勉強会などを通して皆様と一緒に見直しについて検討していきます。

3. 区域内のエリア別ご意向、特性について

これまでに開催した説明会やアンケートでいただいた主な意見をエリアごとに整理しました。



エリアごとに特性も異なることから、区域全域ではなくエリアに分けて勉強会等を進めていきます。

4. まちづくり勉強会の方向性について

■まちづくり勉強会の目的

本地区において長期未着手となっている土地区画整理事業の見直しに向けて、地域にお住まいの皆様が望まれるまちづくりと、市として目指さなければならない都市計画道路の整備や防災上の課題解消等の方法について、皆様と行政が意見交換をしながら取りまとめることを目的とします。

■まちづくり勉強会で検討すること

まちづくり勉強会では大きく3つの段階に分けて検討を進めていく予定です。

【第1段階】

地域の現状を把握したうえでまちの課題を見つけます。

【第2段階】

その課題の解決策を考え、まちの将来像を定めます。

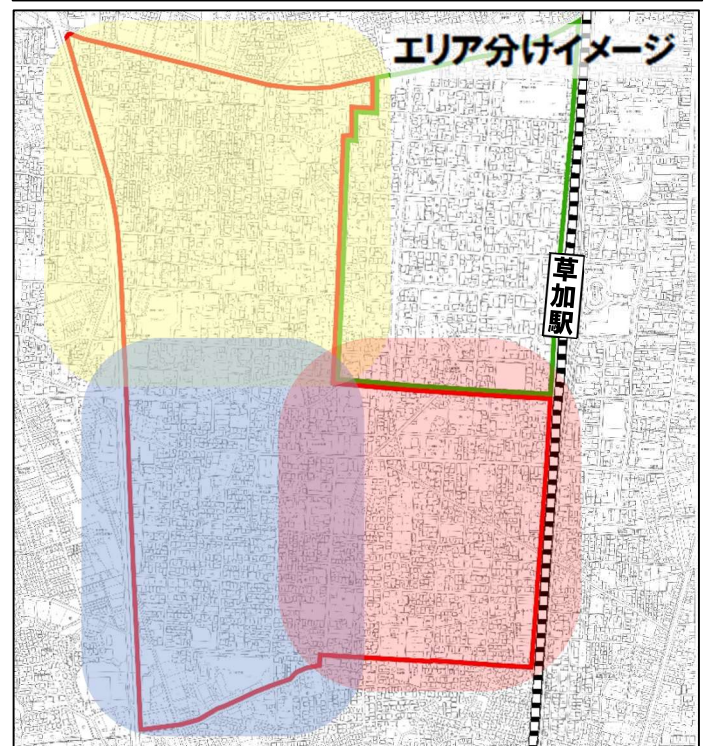
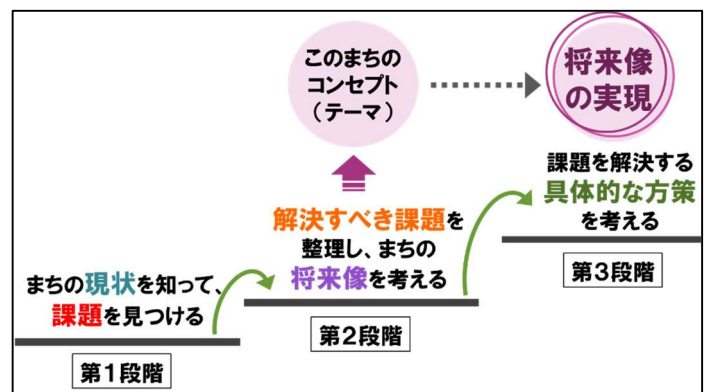
【第3段階】

まちの将来像を実現するための具体的なまちづくりの方策を検討し、計画案としてまとめます。

■まちづくり勉強会のエリア分け

地域によってまちの課題が異なるため、まちの状況や特性等を考慮した一定の範囲でエリアを区分し、エリア単位でまちづくり勉強会を開催いたします。

各エリアにおいて検討したまちの課題や、まちの将来像については、各エリアの代表者等によって構成される全体協議会において共有し、氷川二次区域全体のまちづくりの将来像として取りまとめていきます。



今後の新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、勉強会開催の検討してまいります。第1回目の勉強会については8月頃の開催を予定しておりますが、詳細については、決まり次第、まちづくりニュースや、市のホームページ等でお知らせさせていただきます。ご参加をご検討のほどよろしくお願いします。

お問合わせ

草加市 都市整備部 都市計画課 まちづくり推進係
〒340-8550 草加市高砂 1-1-1
TEL:048-922-1802 FAX:048-922-3145
E-mail:toshikeikaku@city.soka.saitama.jp